

# とき “この時”のために

せいしょ  
聖書：エステル記 1 章 - 10 章



1. 今日のお話<sup>きょう はなし</sup>でいちばん心<sup>こころ</sup>に残<sup>のこ</sup>ったことはなんでしたか？
2. 王様のお妃<sup>おうさま きさき</sup>になったのは誰<sup>だれ</sup>ですか？ (2:17)  
( ) ワシュティ ( ) ポリエステル ( ) アリエル ( ) エステル
3. エステルはどうして王妃<sup>おうひ</sup>になれたのですか？ひとつだけ選<sup>えら</sup>んでね (参照<sup>さんしょう</sup>：ピリピ 4:19)  
( ) 誰<sup>だれ</sup>よりも美<sup>うつく</sup>しかったから ( ) 誰<sup>だれ</sup>よりもやさしかったから  
( ) 神さまがすべて必要<sup>ひつよう</sup>なものを与<sup>あた</sup>えてくれたから ( ) 頭<sup>あたま</sup>が良<sup>よ</sup>かったから
4. モルデカイはなぜハマンを拜<sup>おが</sup>まなかったのでしょうか？ (3:2,3 参照<sup>さんしょう</sup>：出エジプト 20:3)  
( ) ハマンが偉<sup>えら</sup>そうにしていたから ( ) ハマンがうらやましかったから  
( ) まことの神さま<sup>かみさま</sup>ではないから ( ) 命令<sup>めいれい</sup>をすっかり忘<sup>わす</sup>れていたから
5. モルデカイは神さま<sup>かみさま</sup>に従<sup>したが</sup>ったのにハマンはユダヤ人を滅<sup>じん ほろ</sup>ぼす命令<sup>めいれい</sup>を出<sup>だ</sup>しました。神さま<sup>かみさま</sup>に従<sup>したが</sup>おうとしてつらい目<sup>め</sup>にあたり苦しめられることもあるのです。しかし、神さま<sup>かみ</sup>は苦し<sup>くる</sup>みの中でユダヤ人が神さま<sup>かみさま</sup>を求め<sup>もと</sup>るようにされました (4:1-3, 14-16)。あなたは大変<sup>たいへん</sup>な時<sup>とき</sup>、苦し<sup>くる</sup>しい時に神さま<sup>かみさま</sup>に信<sup>しん</sup>頼<sup>らい</sup>して神さま<sup>かみさま</sup>を求め<sup>もと</sup>ていますか？ (参照<sup>さんしょう</sup>：詩篇 50:15)
6. ユダヤ人<sup>じん</sup>の中で王様<sup>おうさま</sup>の前<sup>まえ</sup>に出<sup>で</sup>て、ハマンの悪<sup>わる</sup>たくみを止<sup>と</sup>めることのできる可能性<sup>かのうせい</sup>を持<sup>も</sup>っていたのはただ一人<sup>ひとり</sup>エステル<sup>えすて</sup>ル<sup>る</sup>だけでした。モルデカイがエステル<sup>えすて</sup>ル<sup>る</sup>に伝<sup>つた</sup>えた言<sup>こと</sup>ば<sup>ば</sup>を下<sup>した</sup>に書<sup>か</sup>いてみましょう (4:14)
7. あなたの顔<sup>かお</sup>かたちや能<sup>のうりよく</sup>力<sup>りき</sup>、家族<sup>かぞく</sup>やお友<sup>おとも</sup>達<sup>だち</sup>は神さま<sup>かみ</sup>が与<sup>あた</sup>えてくださったものです。あなたはそれを神さま<sup>かみさま</sup>に感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>していますか？感<sup>かん</sup>謝<sup>しゃ</sup>できない人<sup>ひと</sup>はその理<sup>り</sup>由<sup>ゆう</sup>を考<sup>かんが</sup>えてみよう。神さま<sup>かみさま</sup>はどうしてあなたにそれを与<sup>あた</sup>えてくださったと思<sup>おも</sup>いますか？
8. 最後<sup>さいご</sup>にエレミヤ 29:11 を読<sup>よ</sup>みましょう。神さま<sup>かみさま</sup>があなたに持<sup>も</sup>っておられる計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>はどんな計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>ですか？